

【高知県立大学】



賴 怡安（台湾）
文化学部交換留学生

高知での留学生活

私は文藻外語大学から来た^{らいいあん}賴怡安と申します。今は高知県立大学文化学部所属の留学生です。2013年の4月に交換留学生として高知に来て、もうすぐ十ヶ月になります。台湾では実家に住んでいたため、家族と離れて日本に来るのは最初は正直少し不安でした。しかし、学生課の先生方と日本人のチューターたちのおかげですぐ高知に慣れました。とても感謝しています。

県立大でいろんな国の留学生たちと国際交流をしました。短期留学のアメリカ人、イタリア人とマレーシア人、そして、同じ長期留学の中国人と様々な国際交流イベントに参加してきました。どのイベントも満喫しました。私にとって一番お気に入りのイベントは四万十のバスハイクです。生で見た四万十川はとてもきれいで印象的でした。前からずっと乗って見たかった屋型船にも乗れたので、本当に四万十川の旅を満喫できました。そして、去年の10月には高知県立大学、高知大学と高知工科大学と一緒に日曜市で各国の料理の試食会を行いました。そのイベントで各国の特色料理をお互いにごちそうし合い、違う国からの留学生たちと友達になりました。

国際交流のイベントだけではなく、チューターたちも個人的に高知城を案内してくれたり、桂浜に連れて行ってってくれたりしました。先生たちも時々食事に誘ってくれて、本当にお世話になりました。初めてひろめ市場でカツオのたたきを食べたとき、「今まで私は何を食べてきた？」と思ってしまうくらいおいしかったです。生ものが苦手だった私もおいしくいただきました。

この留学期間は本当に良い思い出しかありません。たくさんの人々と知り合って、自分の視野も広がりました。高知は自然豊かで、料理もおいしいし、人も暖かい素敵な場所です。私はこのゆとりを感じられる高知が好きです。もし機会があれば、ぜひまた高知に戻りたいと思います。